FAST FACTS
国連開発計画（UNDP）

Empowered lives.
Resilient nations.

危機にある国での暮らしと経済復興

途上国では、災害および紛争によって、かねてから不安定だった人々の暮らしが決定的に損なわれ、貧困が悪化し、長期的な成長が停滞もしくは逆行することがあります。

商業活動の中でも特に小規模ビジネスや、農作物が被害を受け、市場、道路、橋などの重要なインフラが全壊・半壊することもあります。これに強制的な退去や暴力、住む場所を失うなどの事態が重なれば、被災した住民にとっては壊滅的なダメージとなる恐れがあります。

UNDPのアプローチ

災害や紛争からの早期復興を促進するために、UNDP は内外のパートナーとともに、以下の 3 つの重点分野で、被災したコミュニティが開発に向けた第一歩を踏み出せるよう支援しています。

- **生計の安定**:たとえば、緊急時の雇用対策を通じ、危機の影響を受けたコミュニティの収入確保や、災害や紛争直後にこれらのコミュニティが貧困に陥ることを防ぐべく、脆弱性の削減に取り組んでいます。
- **地域経済の回復と再建**:たとえば、地元企業の営業再開・自立支援、元兵士の再定住、就職、起業のための訓練と支援、損傷したインフラ、学校、避難所の再建に取り組んでいます。
- **長期的回復とインクルーシブな成長**:たとえば、起業訓練の推進、被災した零細企業への助成金や貸付金の提供、地雷除去による土地の再生に取り組んでいます。また長期的な発展にとっては、UNDP の支援を通して再建されたインフラが、将来の災害防止に役立つようにすることも不可欠です。たとえば、瓦礫を利用した河川堤防の強化や、将来の地震に耐える基準での橋の再建などが必要です。

これらの施策は、コミュニティ全体および地域経済の活性化を促し、住民が緊急事態から長期的発展へと移行するよう支援し、早期復旧のための活動が持続可能な開発へ迅速に戻るための基礎となるようにします。

UNDP のサポートを受けて小さな店を開いたケニアの女性たち（写真提供:UNDP ケニア）

女性、若者、および帰還難民に重点を置く一方、紛争後の多くの国で長期的平和を築くためには元兵士の社会復帰も特に重要です。UNDP は、その家族とともに元兵士にも職を与えるよう、また元兵士が復帰するコミュニティにも支援を提供するよう、取り組んでいます。UNDP は経済的な機会を広げるとともに、職業訓練を行い、場合によっては元兵士の社会復帰を助けるための心理社会的支援も提供しています。

紛争後の多くの国では地雷および爆発性戦争残存物（ERW）が、住民の土地利用を妨げて経済成長と貧困撲滅を遅らせ、住民が基本的サービスを受ける機会を奪い、天然資源の利用を阻んでいます。UNDP は紛争後の各国政府と密接に協力し、地雷対策を復興・開発・生活再建支援の不可欠な要素と位置付けられるよう支援しています。

主要事実

- 1990 年代以来、世界中で **100 を超える紛争**が終結しました。
- **15 億にのぼる人々**が、暴力、紛争、または度重なる犯罪の影響を受けている地域で暮らしています。
- 地雷および爆発性戦争残存物が、1 年に **4,000 人以上の命**を奪っています。
- 災害による死亡の **95 パーセント**は途上国で発生しています。
- 災害によって、過去 20 年間に **130 万人以上**が命を落とし、年平均 **2 億 2,000 万人**がその影響を受けてきました。

UNDP の活動

2012 年の世界での活動:

- **アフガニスタン、ブルンジ、コンゴ民主共和国、エチオピア、フィジー、ハイチ、ケニア、パキスタン、ソマリア、ウガンダ、および占領下のパレスチナ**で、UNDP の緊急雇用プログラムによって男女あわせて 186,000 人以上が裨益しました。
- UNDP の支援によって、危機の影響を受けた約 95,000 人の人々が自営業を開始しました。このうち半数以上は、以前 UNDP の事業を通して一時的な雇用支援を受けた人々です。
- **アフガニスタン、ケニア、キルギス、ハイチ、ネパール、パキスタン、ソマリア、スリランカ、ジンバブエ**で、紛争および災害の影響を受けた約 200 万人に、UNDP が支援した学校、診療所、市場、道路、排水システムなどのインフラ再建が役立ちました。
- **アンゴラ、エジプト、タジキスタン、スリランカ、ウガンダ**で、極度の貧困下に暮らす 4,600 人以上の地雷被害者を、UNDP は地雷除去プログラムおよび職業訓練・少額助成金・家畜・小規模起業支援・政府雇用などの持続可能な生計手段の提供によって、支援してきました。
- **アフガニスタン、ブルンジ、中央アフリカ共和国、ソマリア、ネパール、スーダン、南スーダン**で、UNDP は約 18,000 人の元兵士とその家族や支援者に仕事を提供しました。
- **アルバニア、カンボジア、コロンビア、イラク、スーダン、イエメン**は、UNDP のサポートで対人地雷禁止条約に基づく責務を果たしました。**ラオス、レバノン、モザンビーク**は、UNDP の支援によってクラスター弾に関する条約に基づき透明性レポートを提出しました。

ハイチでは 2012 年に、UNDP が 5 万人以上の人々の雇用を創出して、2010 年の震災で生じた 1000 万立法メートルの瓦礫の撤去を支援しました。2012 年に撤去された瓦礫は 78 万 7,000 立方メートルにのぼります。上記に加え、震災以来、UNDP の支援で仕事を得た人々は 30 万人を超えています。撤去された瓦礫の 25 パーセント以上が、新しい家屋、舗装道路、擁壁にリサイクルされました。地震によって住む場所を失った人々は自宅に戻り始め、公園をはじめとした緑地も建設されています。

同じ年に**ソマリア**では、紛争と干ばつの影響を受けた地域の約 5,700 人の若者と女性が訓練を受け、一時的な仕事を得ました。また、集水地と農地の復興、道路の再建も行われました。

コンゴ民主共和国の地雷除去活動で働く人（写真提供:Sylvian Liechti、UN）

タジキスタンでは、地雷回避教育プログラムへの UNDP の支援が効果を上げ、1 年間の地雷事故件数が 2003 年の半分まで減少しました。地雷除去によって生産性のある土地が利用可能になり、これまでに女性 4 万人を含む 7 万 3,000 人以上の人々が利益を受けています。2012 年には UNDP の支援で、540 人以上の地雷被害者が融資および職業訓練を利用しました。

アフガニスタンでは、UNDP は公共事業やインフラ整備プロジェクトによって、2,500 人上の元タリバン兵士および反政府兵士に雇用の機会を支援しています。元兵士たちは、井戸を掘り、損傷を受けた橋を再建し、道路、防護壁、用水路、学校を建設しています。2012 年には約 1,400 人がこのプロジェクトで訓練を受けました。これらのイニシアチブは、貧困層の収入の機会を広げるだけでなく、安全の向上にも役立っています。

中央アフリカ共和国では 2012 年に、約 4,000 人の元兵士がコミュニティに復帰し、小規模な小売業、農業、工場を開始する支援を受けました。

ブルンジでは、元兵士を含む 4,300 人以上の紛争の影響を受けた人々が、UNDP が支援する一時雇用の機会を得ました。その仕事は、たとえばタンガニーカ湖の堆積物の除去、植林、用水路の復旧等を通して、環境の回復力の向上に貢献しています。

スーダンでは 2012 年末までに、2,000 人以上の女性を含む少なくとも 1 万 400 人の元兵士が、経済的支援ならびに識字教育・食品加工・性と生殖に関する健康等を含む職業訓練を受けるとともに、少額融資および小規模な事業を開始するために必要なツールを含む起業支援を受けました。

詳細については、www.undp.orgをご覧ください。

国連開発計画（UNDP）
One United Nations Plaza
New York, NY 10017

2013 年 4 月

Empowered lives.
Resilient nations.